

ポーラ 最新のサステナビリティ活動 生理の貧困・ジェンダー・障がいなど様々な壁をなくす取り組み

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、2029年に迎える創業100周年に向けて、私と社会の可能性を信じられる、つながりであふれる社会を目指すサステナビリティ方針を掲げ、社会・経済・環境におけるSDGsの目標数値を設定し、全国で活動を推進しています。最新の地域の活動についてご紹介します。

- ①女性たちのQOL向上－「生理の貧困」の壁をなくす－（静岡県）
- ②手話で季節美容を発信（愛知県）
- ③医療機関と提携し、マッサージやメイクサービスを提供（大阪府）
- ④子供の夢を応援し、美容におけるジェンダーの壁をなくす（福岡県）
- ⑤中国地方5県合同でリユースコンテスト開催（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

女性たちのQOL向上 －「生理の貧困」の壁をなくす－（静岡県）

テレビの特集で、生理に関する課題を解決するための任意団体「#みんなの生理※」の調査により、「過去1年以内に経済的な理由によって生理用品の入手に苦労した」と答えた若者の割合が約20%、つまり5人に1人いるという実態を知りました。生理の貧困が原因で、本来発揮できる力や未来の可能性が閉ざされている女性達の一助になればという想いで、取り組みをスタートしました。

◆静岡県運営の男女共同参画センター（あざれあ）に働きかけ、静岡県としての「生理貧困窓口」の設立につながり、生理用品の支援を開始。
現在は県の男女共同参画センターに、トイレに「生理用品の無料配布」のカードを設置していただいています。

◆静岡市の連携先のNPO法人静岡女性会館と連携し、市内の定時制高校や経済的に困難を抱える方へ生理用品を配布。

◆ポーラショップのお客さまが製品ご購入時、マイバッグ（エコバック）にご協力をいただいた場合、使用予定だった袋の料金をお店で募金し、生理の貧困のために寄付を実施。

◆この活動に共感してくださった、ポーラショップのお客さまである高校の先生と一緒に、市内の高校で「女性の体と健康、資源の大切さ」をテーマに授業を3回にわたり約120名を対象に実施。授業の中では実際に布ナプキン作りを体験していただき、生徒から嬉しい声をいただきました

※「#みんなの生理」

<https://minnanoseiri.wixsite.com/website/post/日本にも「生理の貧困」5人に1人の若者が「金銭的理由で生理用品を買うのに苦労した」>



男女共同参画センター
生理用品無料配布のカードを掲示



市内の高校で授業
布ナプキン作りを体験

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

手話で季節美容を発信（愛知県）

愛知県のポーラ smileショップでは、地域の子育て支援施設での親子で学べるスキンケア講座、大学での就活メイク講座などの取り組みを行うほか、視覚障がいや聴覚障がいをお持ちのお客さまとの出会いがきっかけとなり、すべての方に心地よくお過ごしいただけるような取り組みを実施しています。

◆エステに3年程通ってくださっている聴覚障がいをお持ちのお客さま安藤昌美さまが、ポーラのショップスタッフへ手話を教えています。ショップのInstagramなどのSNSも監修いただき、より多くの方にポーラおすすめの手話美容をお伝えする動画を手話で発信。

Instagram @pola_toyohashi_smile

https://www.instagram.com/pola_toyohashi_smile/

◆昨今コロナ禍で長引くマスク生活により、口もとが見えないことで、聴覚障がいをお持ちの方の不安要素が増えていることもわかり、現在はスタッフ同士で、日常会話だけでなく実際の接客場面を想定した、手話でのカウンセリングや肌プランニング*の練習をしています。今後は地域のろう学校などへ訪問し、生徒との交流ができるよう検討する他、手話だけでなく様々な取り組みを強化する予定です。

*肌プランニング：ポーラのパーソナライズドサービスブランド「アベックス」で、肌分析やカウンセリングを通して、お客さまの未来のなりたい肌と一緒に目指すこと。



定期的到手話のレッスン実施

手話監修
安藤昌美さま



smileショップのInstagramにて手話で美容を発信

医療機関と提携し、マッサージやメイクサービスを提供（大阪府）

大阪府交野市にあるポーラ エステイン美夢花ショップは、誰一人取り残さない心も身体もバリアフリーな社会を目指し、性別や障がいの有無にかかわらず、お客さまの心の声を聴き、元気や笑顔のお手伝いをするべく4年にわたり活動しています。

◆視覚障がいのあるお客さまとの出会いがきっかけで、就労支援施設で障がいのある方とご家族へハンドマッサージを実施していたところ、そのことがきっかけで寝屋川市の「星光メディカルクリニック」の院長先生と出会い、クリニックと提携。

現在では月に1度クリニックのスペースを借りて、ハンドマッサージやフットマッサージ、メイクサービスなどのサポートを継続しています。

◆クリニックでのサポートをすることにより、沢山の新しいお客さまとの出会いがありました。院長先生によると、高齢の方はとくに長引くステイホームの生活で、足がむくむことなどがありますが、ポーラのサポートによってクリニックに通うことが楽しみになってくださったり、日頃の悩みをポーラスタッフに気軽に打ち明けてくださることで、クリニックでのコミュニケーションの幅も広がっているそうです。

◆乳腺外来に来られているがん治療の患者さまの中には、月に1度ショップへエステに通われる方もいて、エステ後に「幸せです」と喜んでいただけることがやりがいにつながっています。



クリニックの周年イベントでハンドマッサージ体験を実施

子供の夢を応援し、美容におけるジェンダーの壁をなくす（福岡県）

福岡県のYOUショップでは2012年より、地域への恩返しのため老人ホームで利用者の方へハンドトリートメントやメイクサービスのボランティアを継続。さらに、複数の高齢者施設や介護施設、児童養護施設、企業や学校で、年齢や性別問わずメイクサービスやメイク講座を実施しています。

◆ボランティア団体「北九州キャリア教育研究会」主催の「夢授業」に所属し、各学校の授業でビューティディレクターの仕事の魅力を伝えたり、メイク体験などを実施。

メイクは女性がするもの、美容の仕事は女性が就くものというイメージや先入観が根強いですが、性別で職業を判断することなく、自分の興味があることや夢を大切にすることが幸せに繋がると、子どもたちへ伝え続けています。

これまでに、授業を受けた子どもたちから700通以上もの手紙が届き、ポーラの授業を聞いた学生の中で、進路に美容を検討し始める人もいます。

今後も様々な美容ボランティアや教育サポートを通して、子どもが性別に捉われず職業観を育て、将来への希望や夢が持てる機会を増やしていきます。

「夢授業」

北九州キャリア教育研究会主催。自分の仕事に誇りを持ち、熱心に働く様々な職業人を学校へ派遣し、子どもたちに職業観を芽生えさせ、将来への希望を持ってもらい働くことの意義について語り合うプログラムを運営。2013年から学校の授業の一環として開始し、各回15分で子どもたちが様々な職業の話聞くことができる。<https://yumeiyugyo.jp/>



老人ホームでの美容ボランティア



「夢授業」での美容の授業・体験

中国地方5県合同でリユースコンテスト開催（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

これまで、岡山県内のポーラショップと従業員が、「岡山を元気にしよう！」と立ち上げた「岡山ももたろうプロジェクト」で行っていた取り組みの一つ

「地球環境保護のための、廃材をアートにするリユースコンテスト」を、今年は中国エリア5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）全体まで拡大して実施しました。子供と大人と一緒にコンテストに関わることで、身近なことから環境問題に目を向けていただけるように働きかけています。

◆リユースコンテスト

ポーラ製品の空容器・空箱を各ショップで回収し、空容器などは資材を必要とする保育園や施設にリユースとして寄付。その廃材を使ったアート作品を募集。SDGs 目標12「つくる責任 つかう責任」をテーマに、廃材をアート作品や持続して使えるものに変身させることで、環境問題・自然環境に対して意識を高めてもらいたいと考え、コンテストを開催。9月にオンライン表彰式を開催。

◆5県それぞれの教育委員会の後援をいただき、ポーラショップオーナーたちが小・中学校、幼稚園 167か所にエントリー用のチラシを配布。

◆3部門（未就学児～中学生の部まで）で作品を募集。託児所内でも、廃材を使って新たなものに作り変える体験を実施し、余った廃材は障がい者支援センターや保育園に寄付し、手を動かす訓練などに使用いただいています。

12 つくる責任 つかう責任



リユースコンテスト告知チラシ



リユースコンテスト応募作品例



【参考資料：ポーラ 2029年 サステナビリティ方針と目標】

社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障がい者・グローバル対応を推進する。
- ③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

経済 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



- ①健康事由での退職者を限りなくゼロへ：がん罹患による退職者 0人
- ②アピランスケアを理解し、各ショップ・コーナーの責任者または主力ビューティーディレクター※・ビューティーコーディネーター※が適切にアドバイスできる状態にする。
- ③ビジネスパートナーの健康診断受診率：80%へ。段階的に受診率や再診率を上げる。



- ①60歳以上のビューティーディレクターの数を増やす。（2019年12月現在：合計 11,894名）
- ②疾病・子育て・介護等で時間に制約がある人も働きやすい体制を整える。自由で自分らしい働き方を提供することで、一人ひとりが高いパフォーマンスを発揮し、生産性・創造性の向上を目指す。



外部パートナーとの連携や、働き方改革から、新しい価値を創出。

環境 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



- ①スコープ1・2でCO2排出量を26%にする。
- ②お客さまへの新たな価値提供の実現を前提としながら、同時に、環境に配慮したサービスを提供する。



RSPO認証パーム油使用率：100%

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー

※ビューティーディレクター：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

※ビューティーコーディネーター：百貨店ポーラコーナーで、カウンセリングをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。